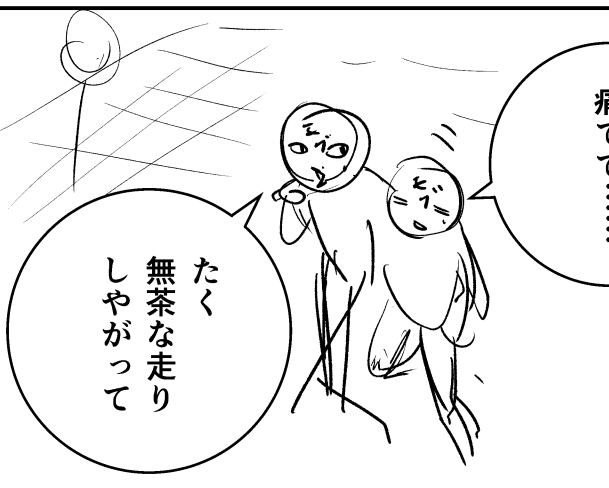




痛てて……

たく
無茶な走り
しやがって

体育
屋



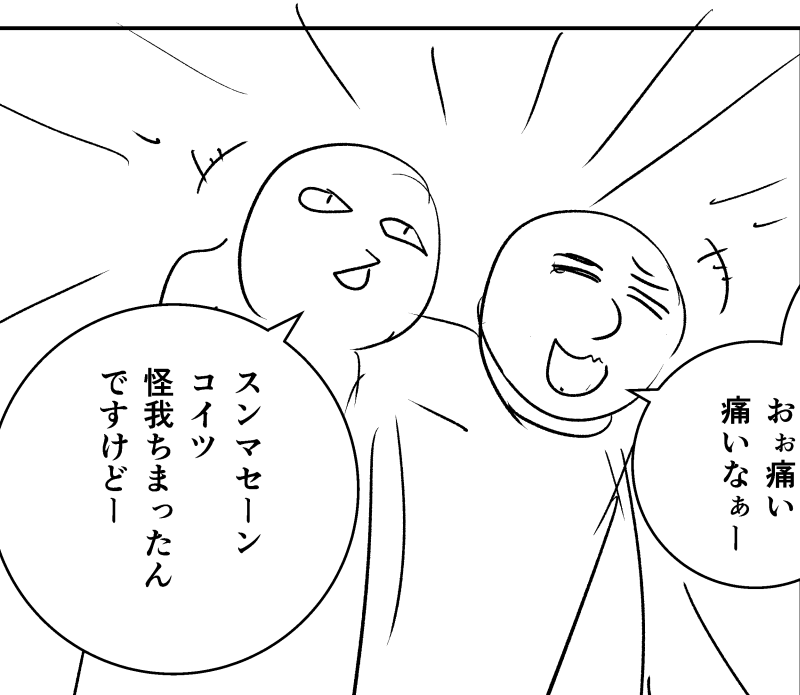
ふっ…
しかし
これで

あの保健の先生に
手厚く治療される
チャンスだぜ？

脚が
イタイ？

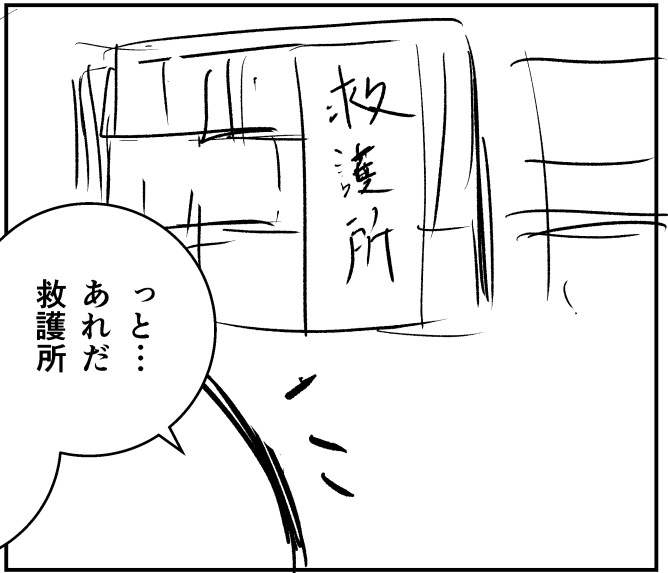
脱がえん
よんらんち

なんと！
計算尽くとか
すげえな！



スンマセー
ン
コイツ
怪我ちまったん
ですけどー

おお痛い
痛いなあー



つと…
あれだ
救護所

それは
大変だ！
大丈夫
っすか？

ぎやああ！
出たああ！

風景

キミが
応対して
くれると
助かるな

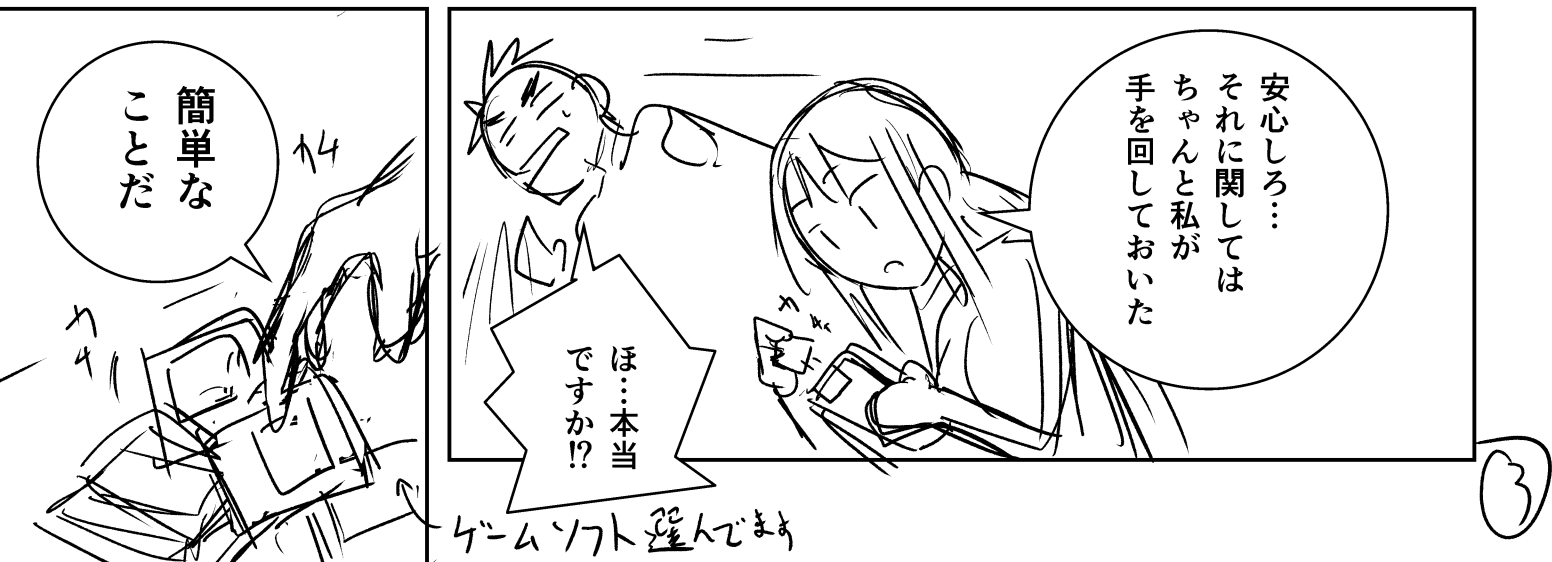
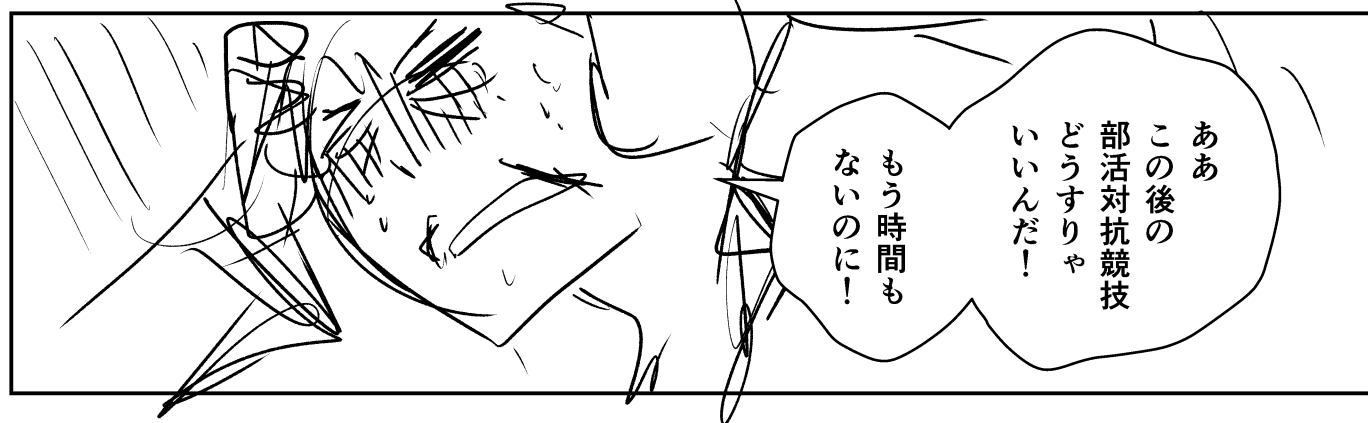
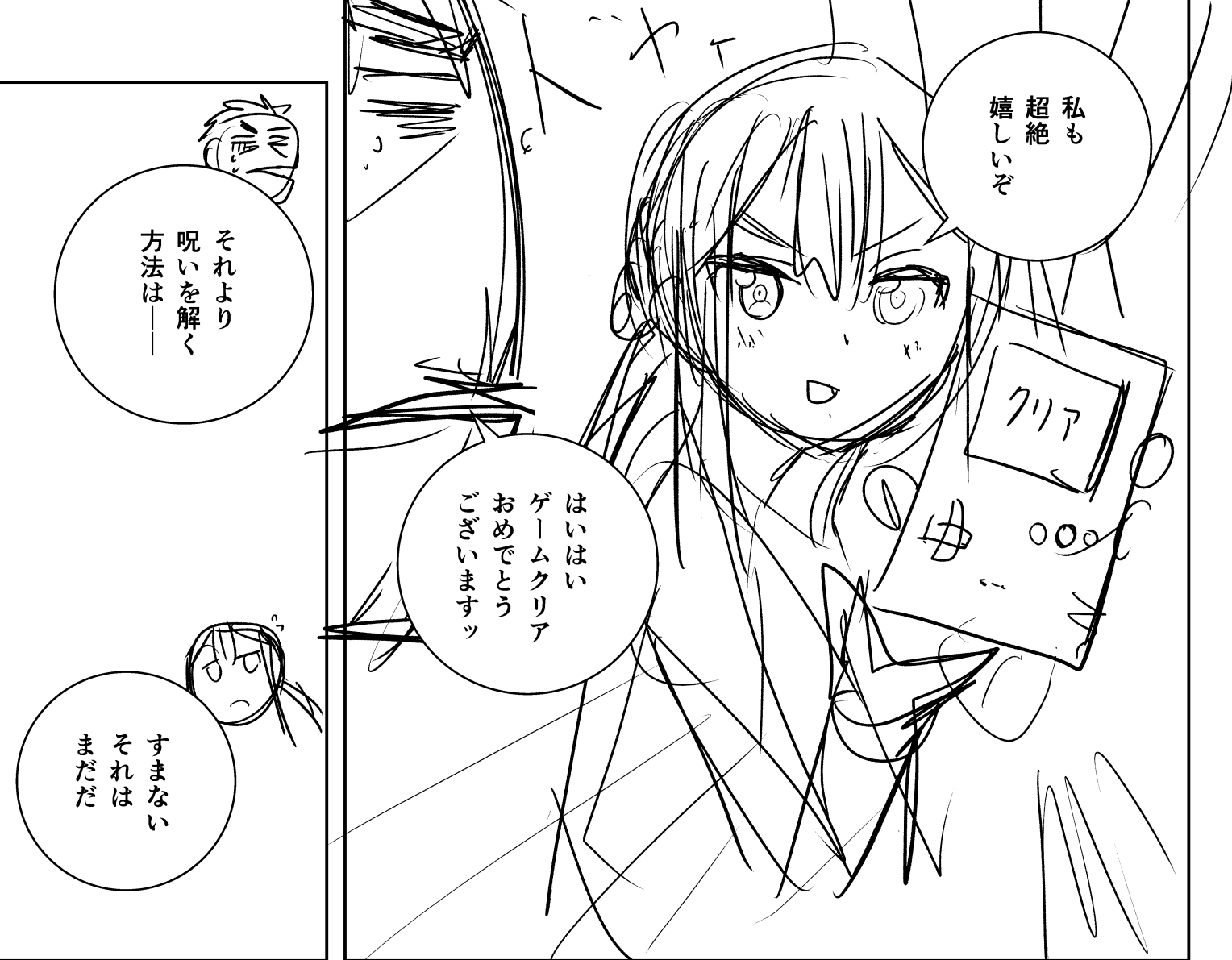
ゲーム画面

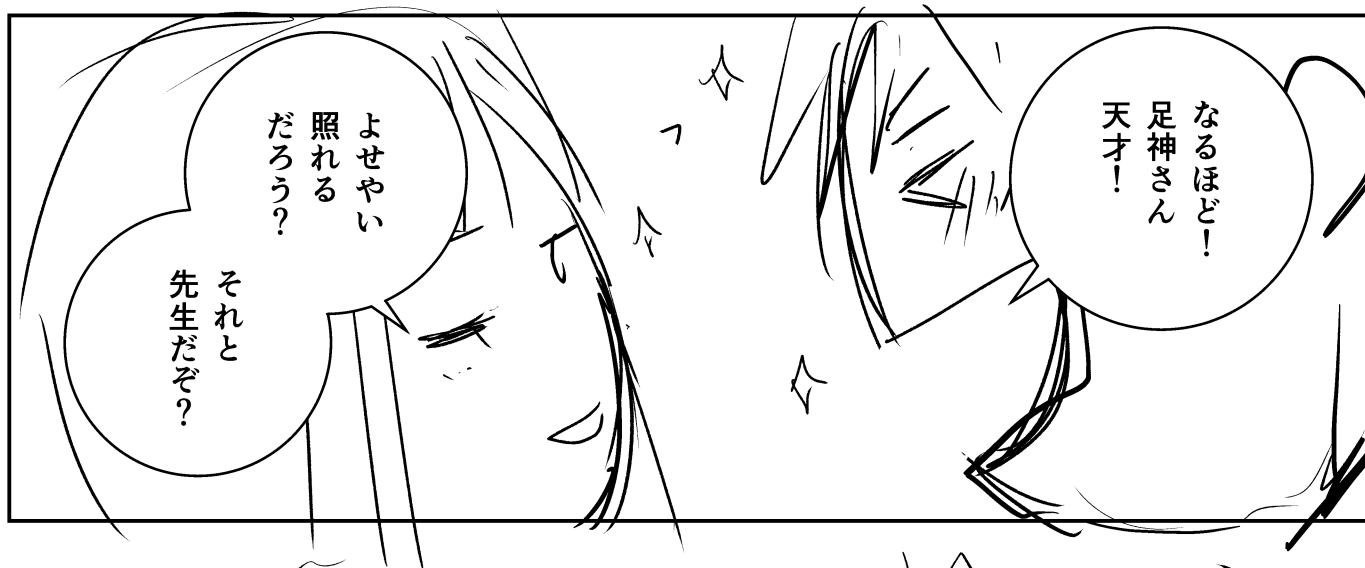
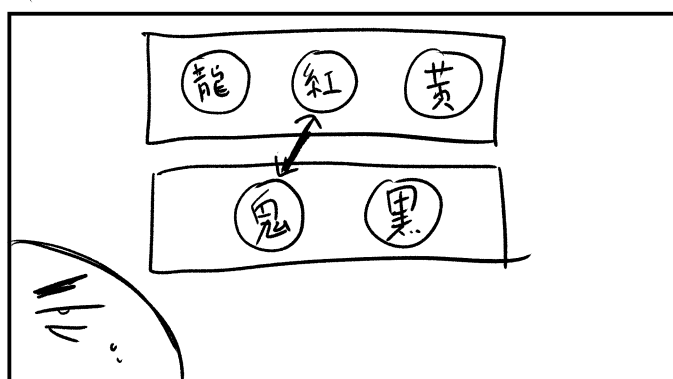
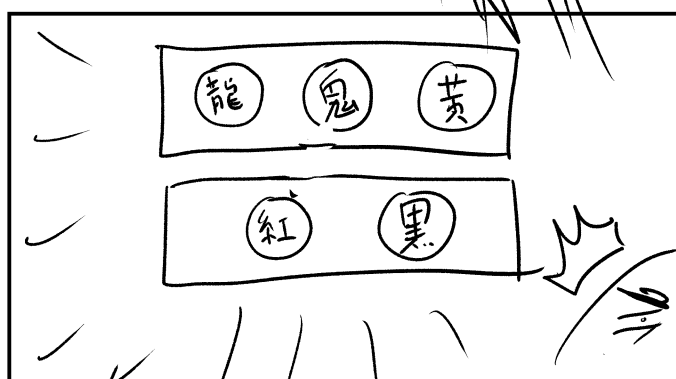
みんな
キミを恐れて
自らテキパキと
治療をして
帰っていく

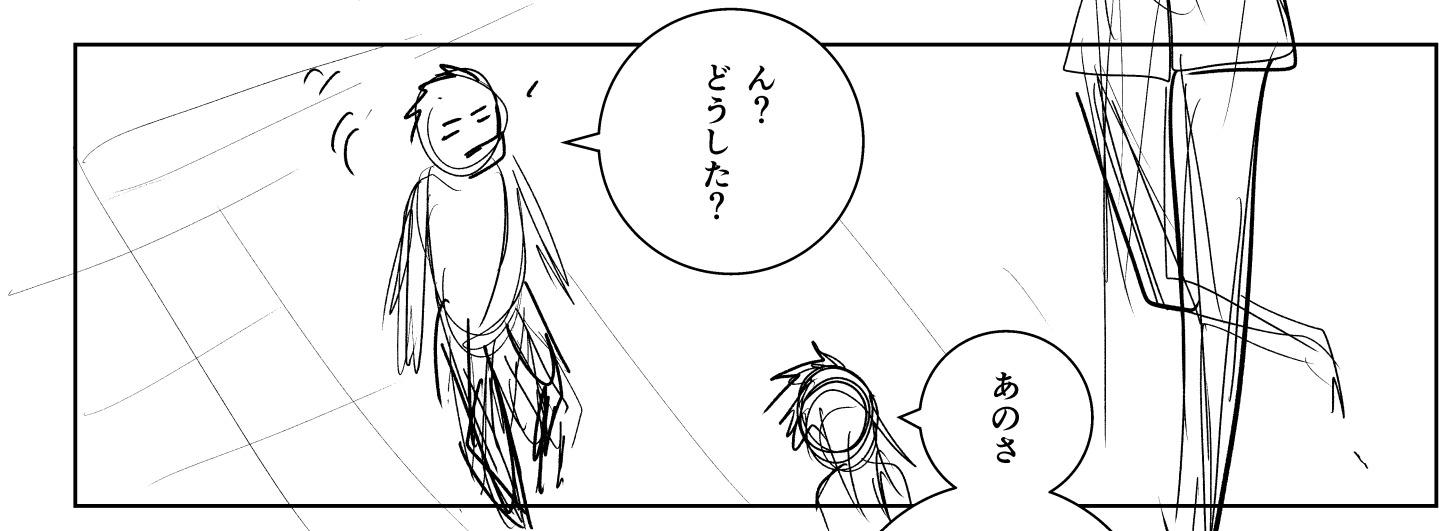
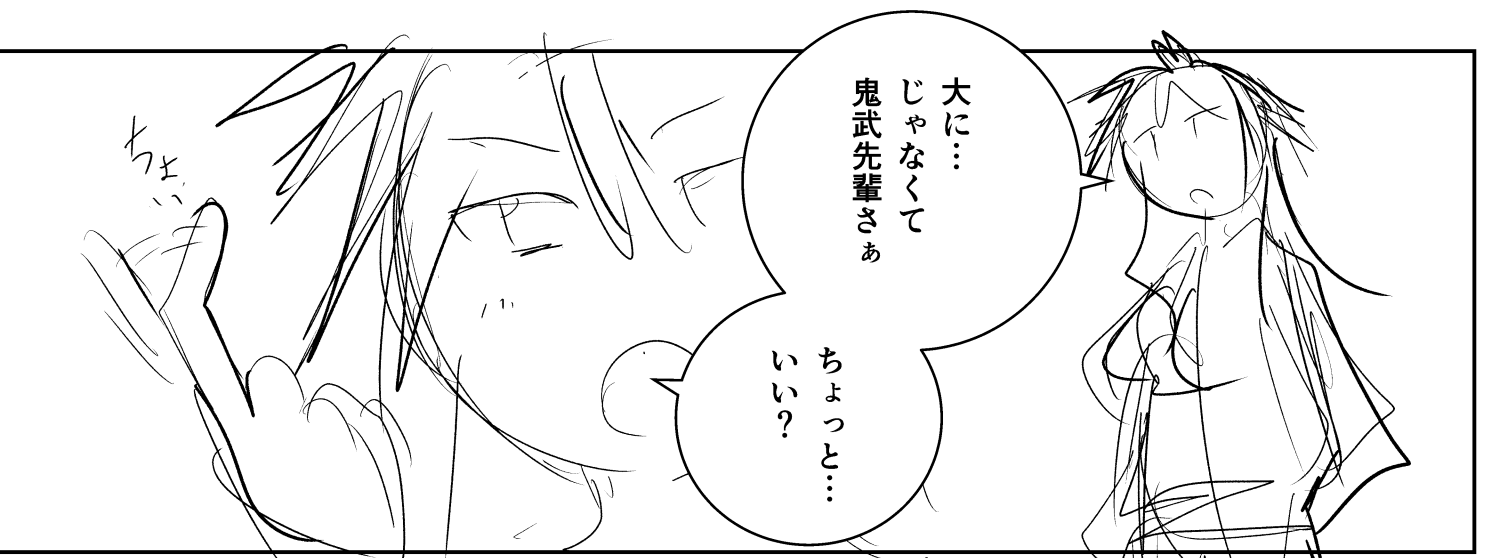
おかげで
暇な時間を
満喫中だ

しくしく…

そうかそうか
かつての親友と
二人きりになれて
泣くほど嬉しいか









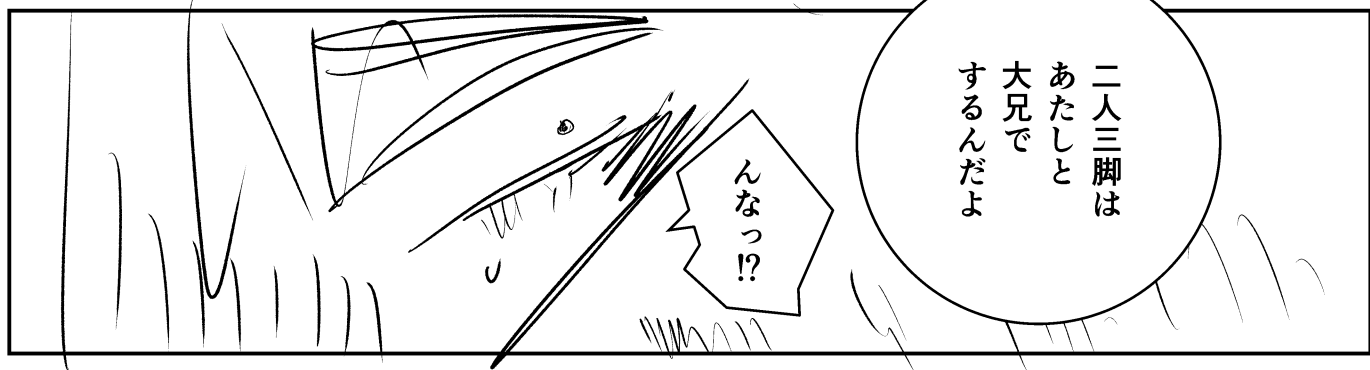
部長先輩と
あたしの
組み合わせを
代えるよう

さつき
体育祭の
実行委員に
頼んどいたぜ



はっ？

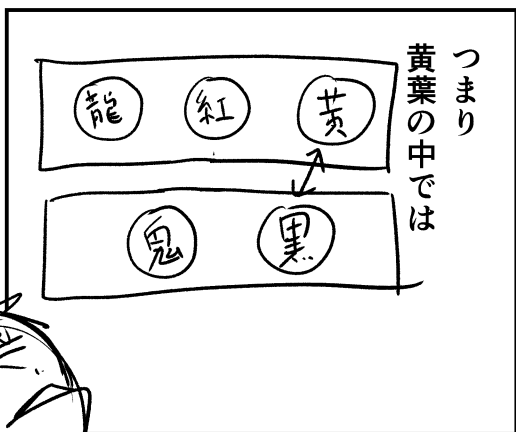
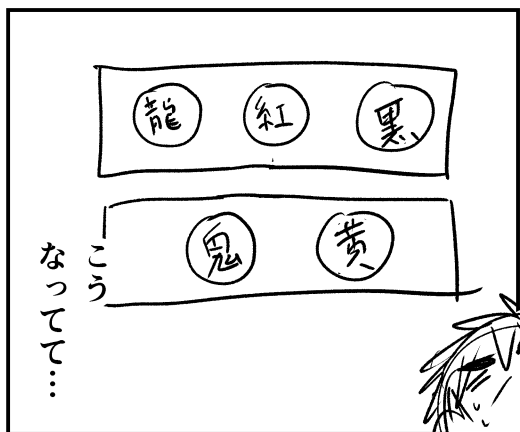
つまり！

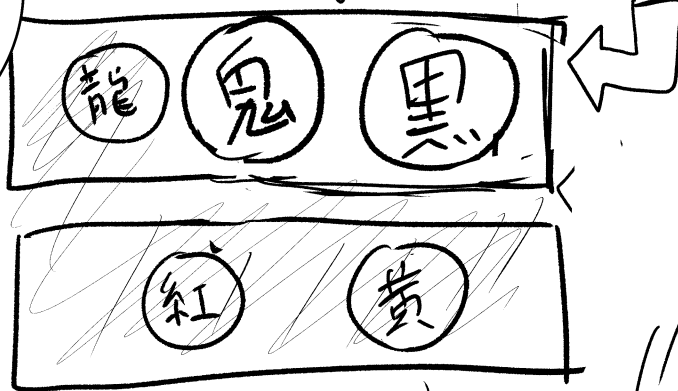
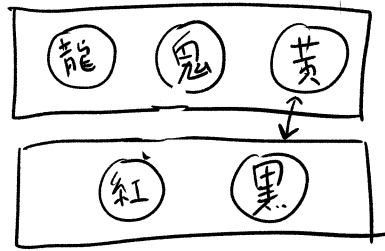


二人三脚は
あたしと
大兄で
するんだよ

んなっ？！

でも足神さんが
組み合わせを
既に代えて
くれたから
——
実際は——





別に礼は
いいからさ！
つうことで
また後でなー

あ！
おい！！

お…鬼武
先…輩っ

げ…
水無瀬さんっ

げっ…て
なんですか
失礼…なっ

あ…あのお
実は…
ち…ちよつと
お伝えしたい
こと…が

この子は
嫌な予感しか
ない…ッ

実は

つ…つい先ほど
体育祭実行委員の
人に頼んで

競技の組み合わせ…
小鳥遊部長と私を
交換…しました！

わ…私と
ラブラブ
二人三脚…
ですっ

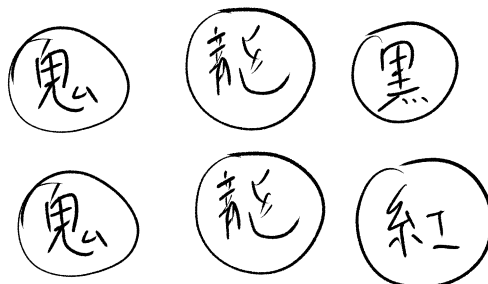
嫌な予感
的中した！
ああもう
ややこしい！

あ…

実際は
こう！
だから――

つまり
水無瀬さん
中ではこう！

小鳥遊さんに
せよ
水無瀬さんに
せよ



こうやって
龍将を挟めば
イケるん
じゃ…？



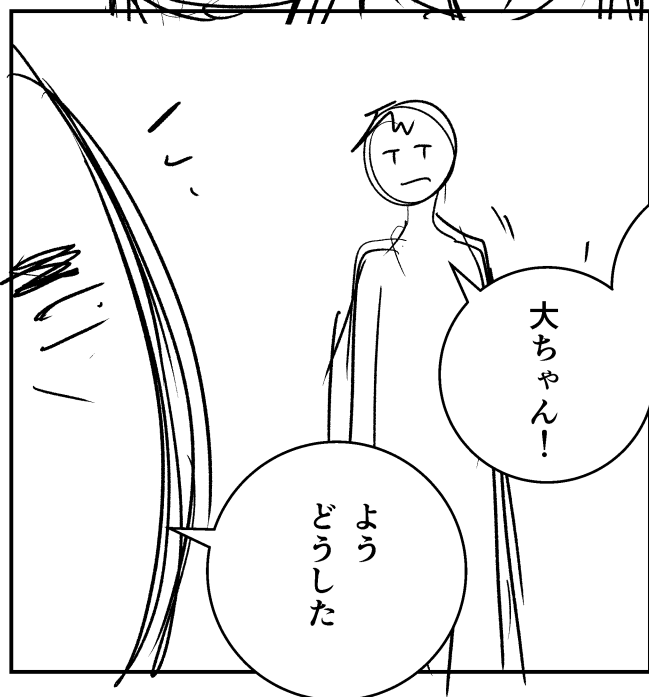
競技……
頑張ろう
水無瀬さん!

え? ふええ?
せ…先輩…が
私…とコンビを
組むことに
前向きに!

…うふ
ふふふ
嬉し♪

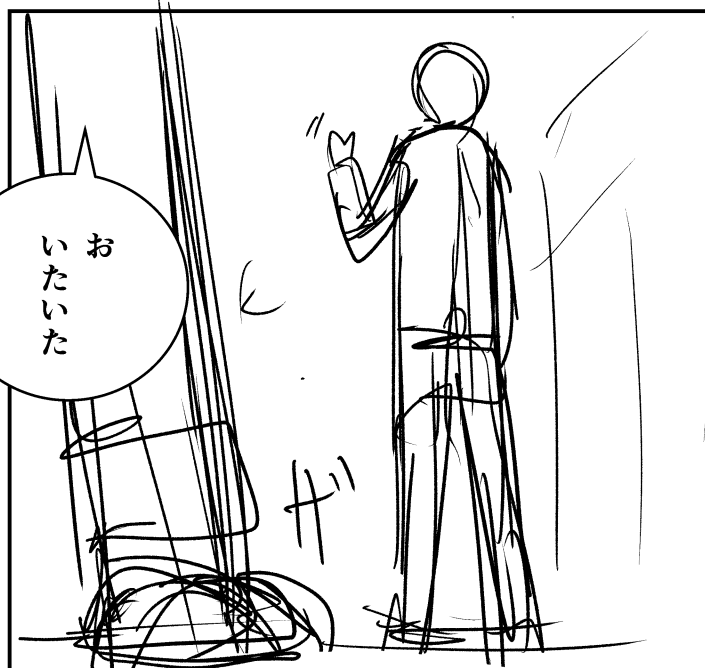


じゃあ
楽しみに…
してます!



大ちゃん!

よう
どうした



お
いたいた

いやさ…
大ちゃんが
困ってると
思ってたな

競技の
小鳥遊ちゃんと
俺の組み合わせ
交代させといた

なにいい
いいッ!?

なんか
実行委員の奴に
「いい加減に
してください!」
とか文句言われた
けどよ

脅し…
じゃねえ
丁重にお願い
しといた
からさ

俺たちの
コンビプレイを
見せてやろうぜ

つ…つまり
龍将の中では
こうでも
実際には

黒 鬼 紅
蒼 龍

!?

部活対抗
二人三脚 &
三人四脚
リレーに参加する
生徒は
集まってください

んげげ!
こうなったら
今すぐ俺が
実行委員に
掛け合って...

ここに
いたのね
鬼武くん

思いっきり
頑張り
ましょう?

ウン
ガンバル
ヨ……

哀れ
な……

そして俺は
小鳥遊さんの脚と
くっついた瞬間
気絶した

……これは
また……
過去の記憶か？

鬼武よ

お前の腕前も
悪くはないが
我を屈服
させるには
やや物足りんな

ふん……っ
いつか絶対
負けを認め
させてやる

無駄無駄！
そうさな……

鬼と拮抗する
降魔の力を
揮う者どもなら
或いは……だがな

へえ……
ならよ……



いつか呪いを
解いて
その力を
手に入れ…

やられた分
仕返しして
やらあ…ッ

くふっ



まだ我に
挑もうという
心意気は
立派立派♪

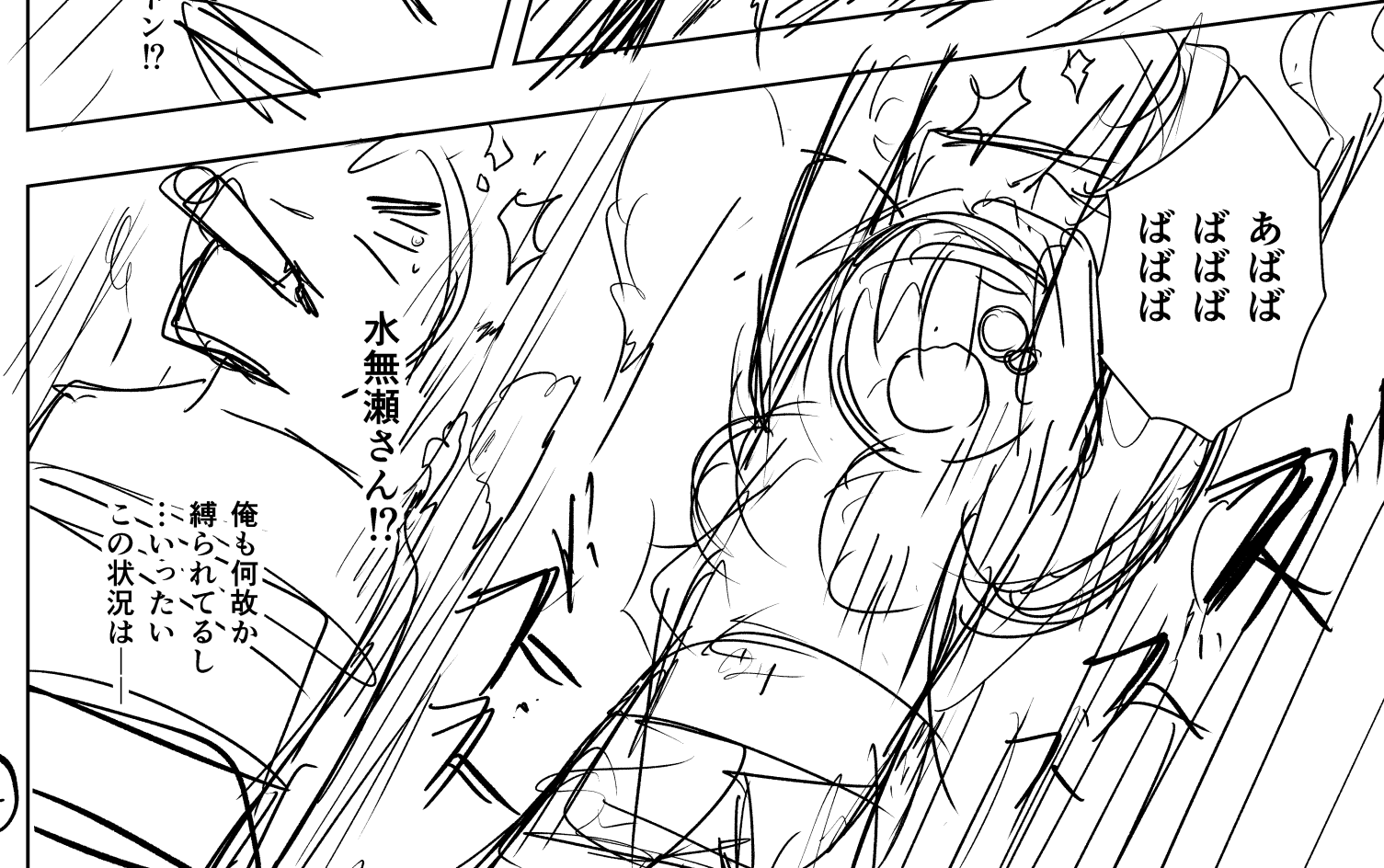
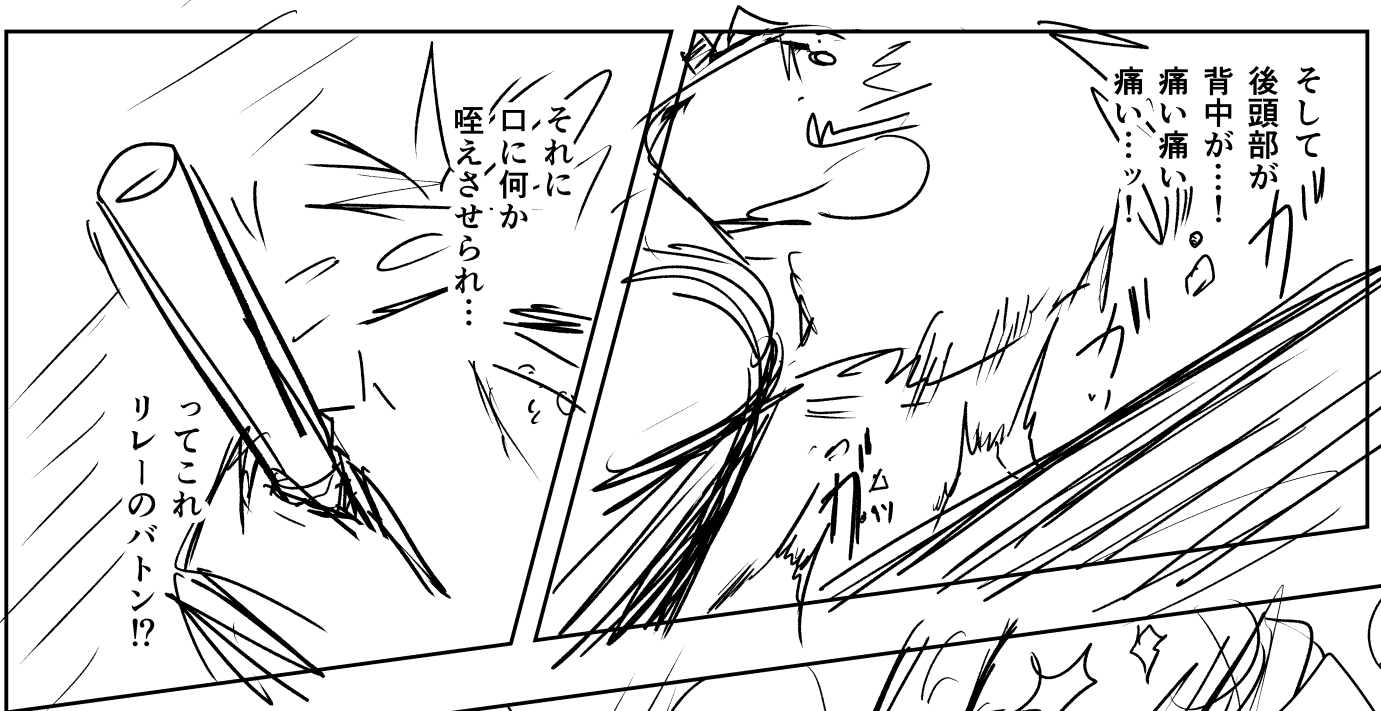
ますます
我に惚れさせて
もっと苦痛を
与えたい…



あはは！
楽しいな
鬼武！

まん
万も
来い！

ふあい！
覚悟しゅろ
鬼武え！



!?

郷土研究会部長
チームメイトを
引きずりながら
すごい勢いで
走っているぞおお！

えっほ
えっほ

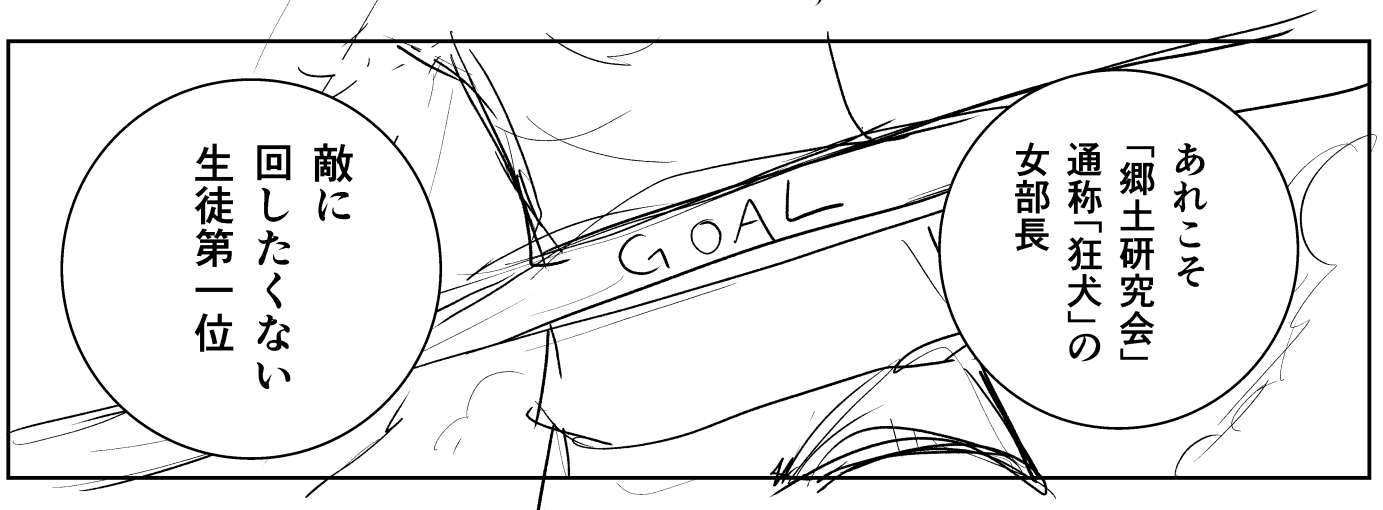
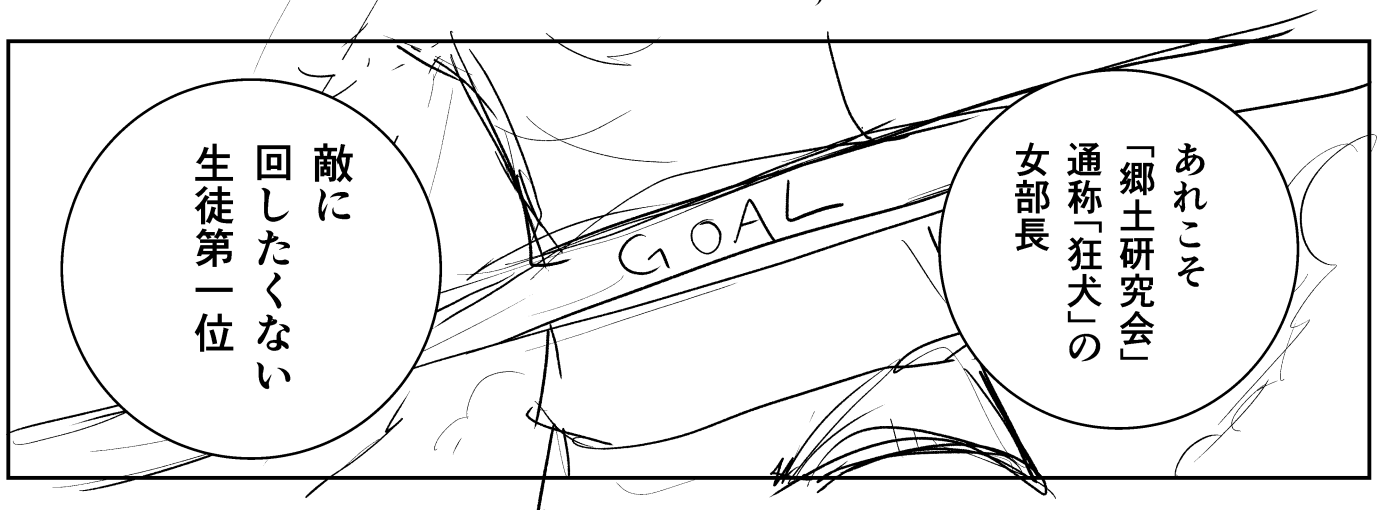
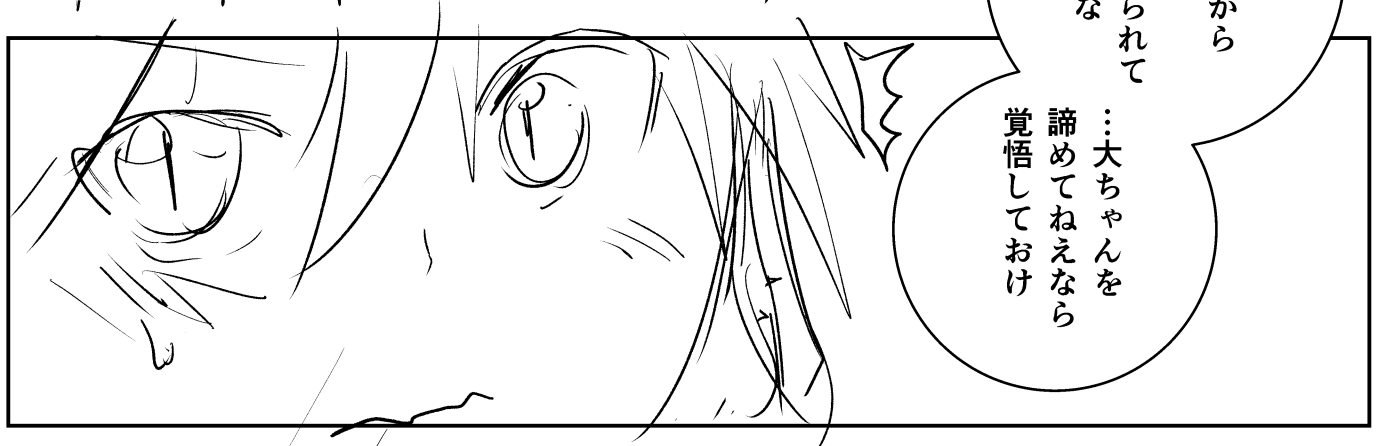
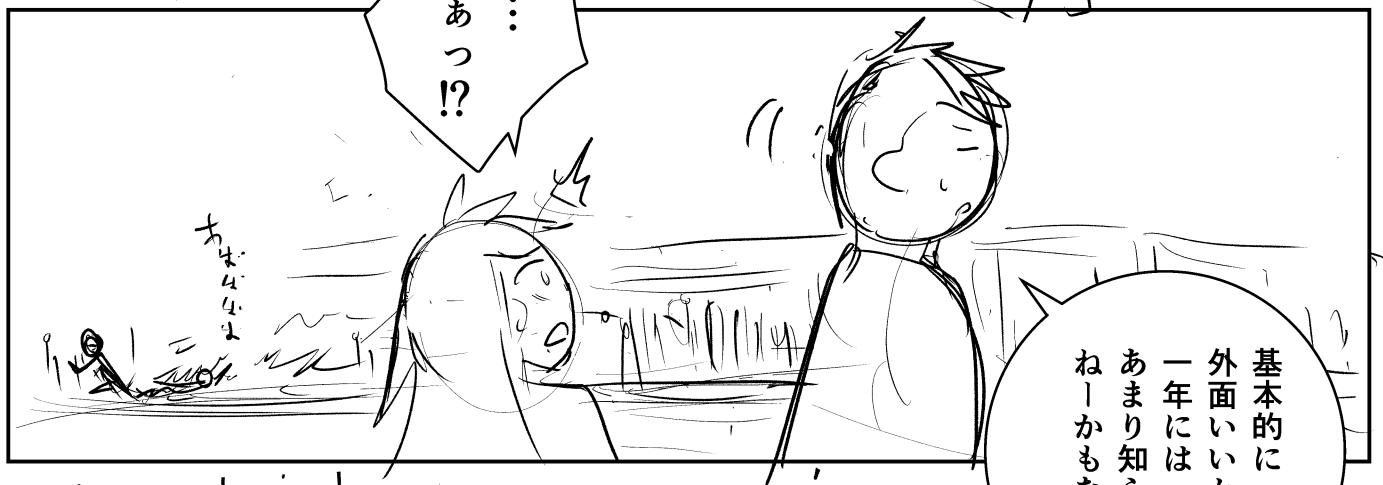
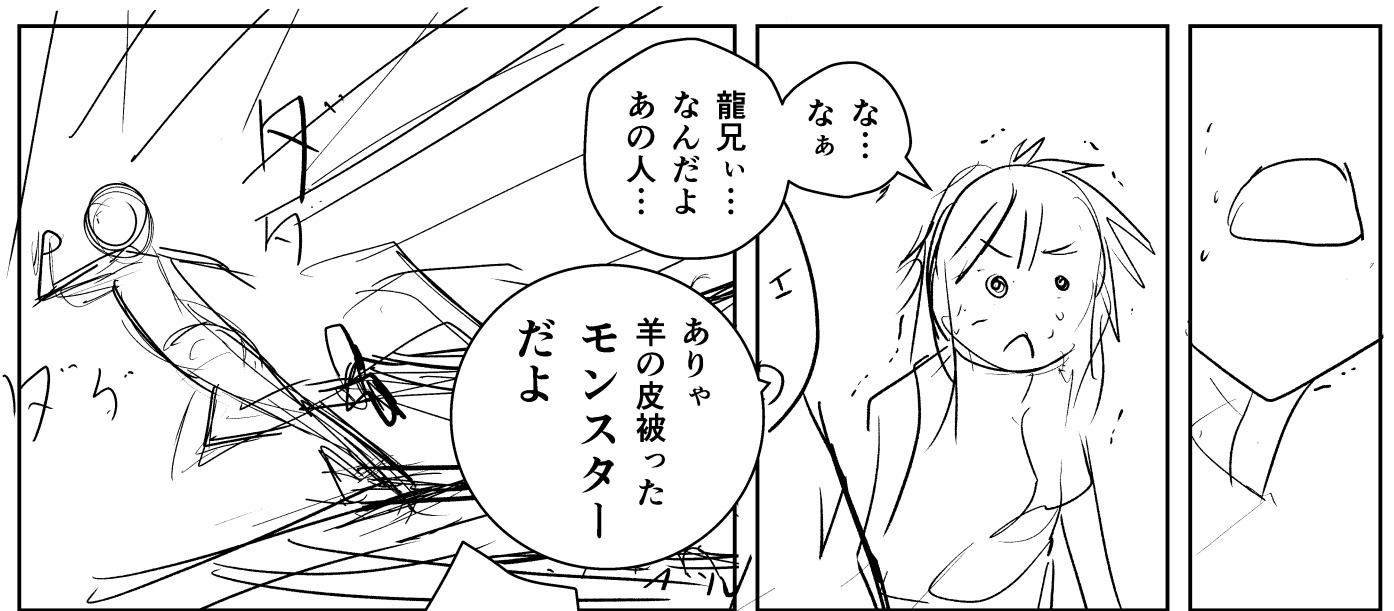
華奢な身体に
どれだけの
パワーを
秘めているのか
小鳥遊黒姫！

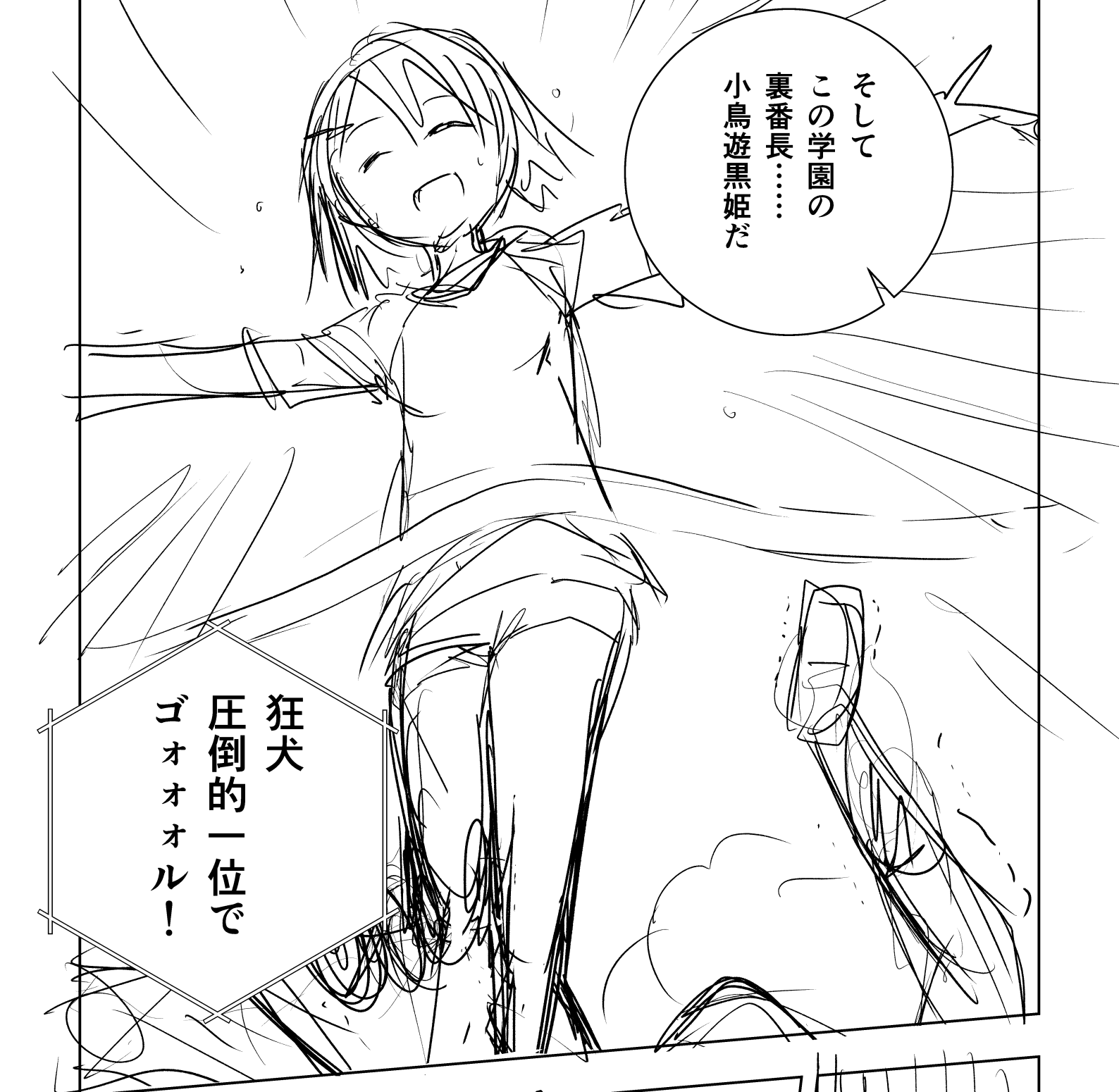
あの
鬼武大王ですら
彼女には
歯が立たない
のかああ！

先ばいばい
あしあしあし
もももつれて
転ん…だらあ！
そのまま

そのままあ！

ああ…
それで
水無瀬さんも
引きずられて
いるのか



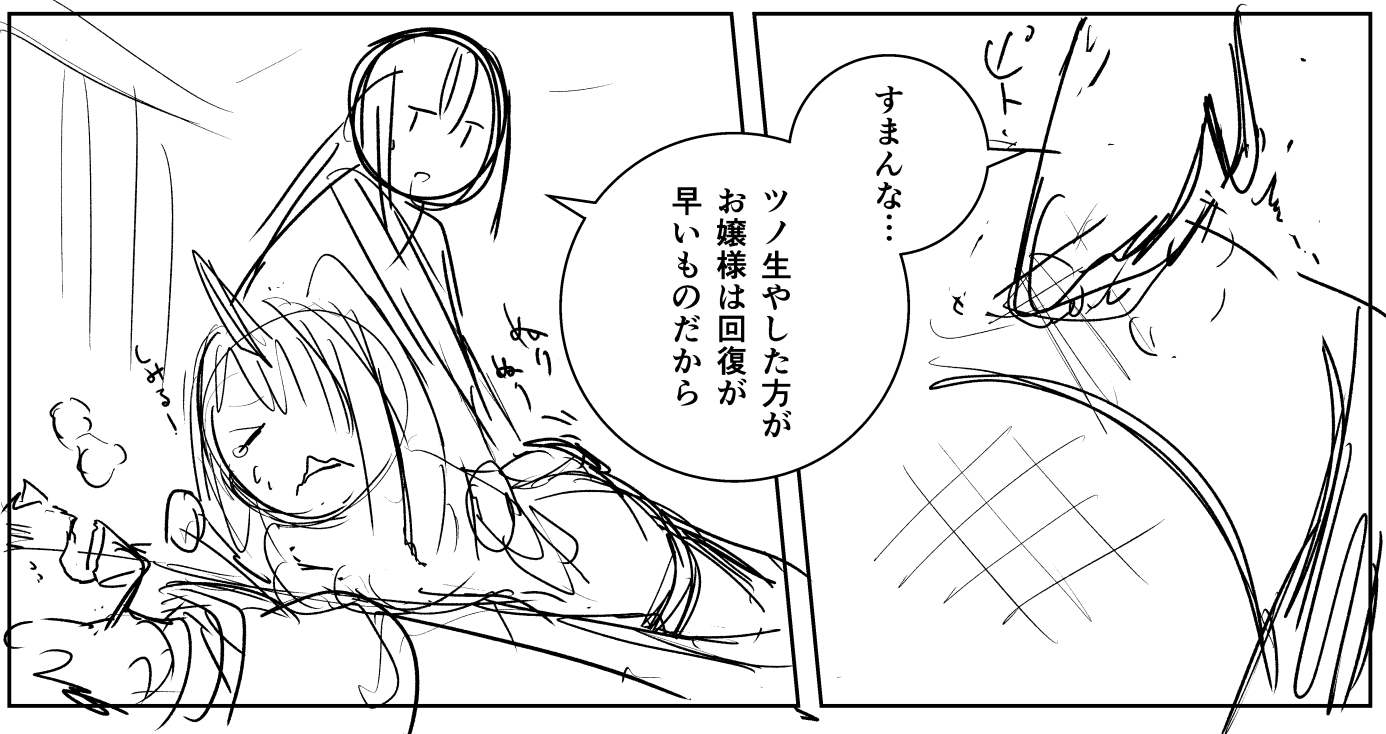
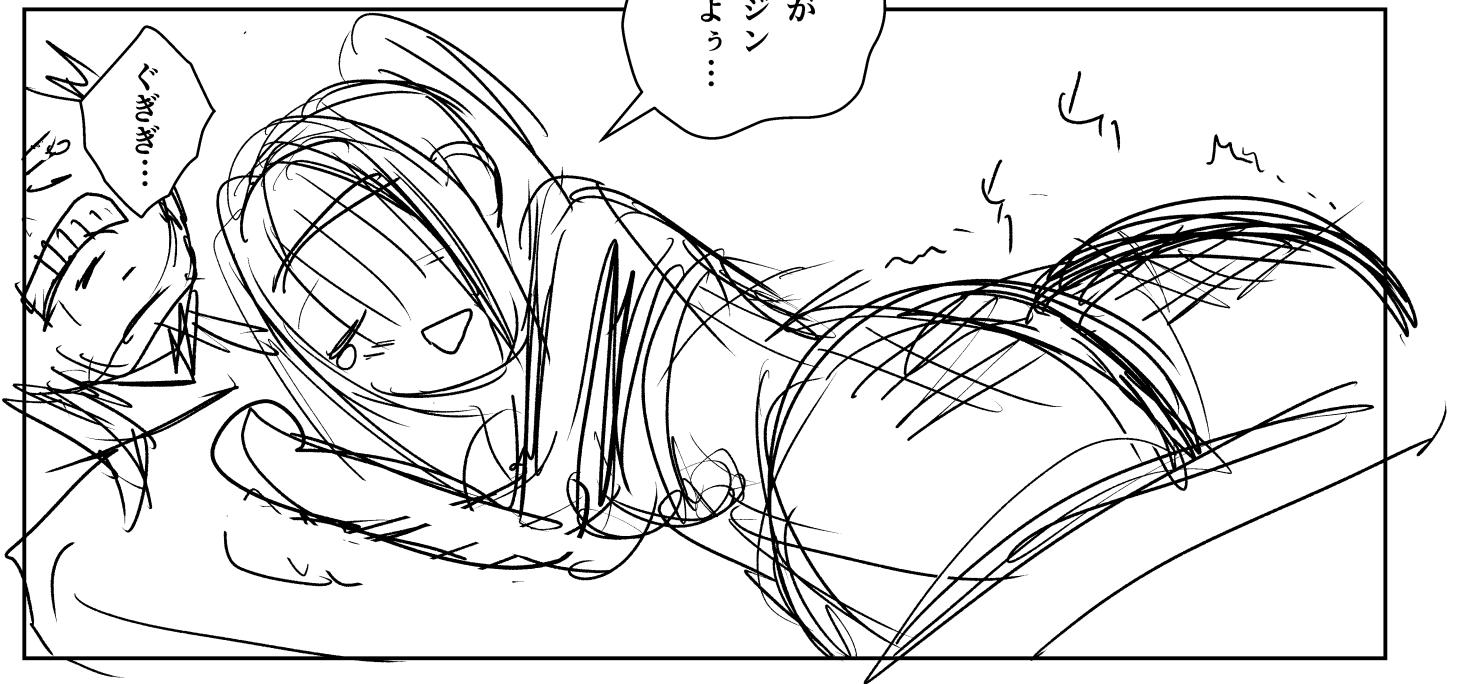
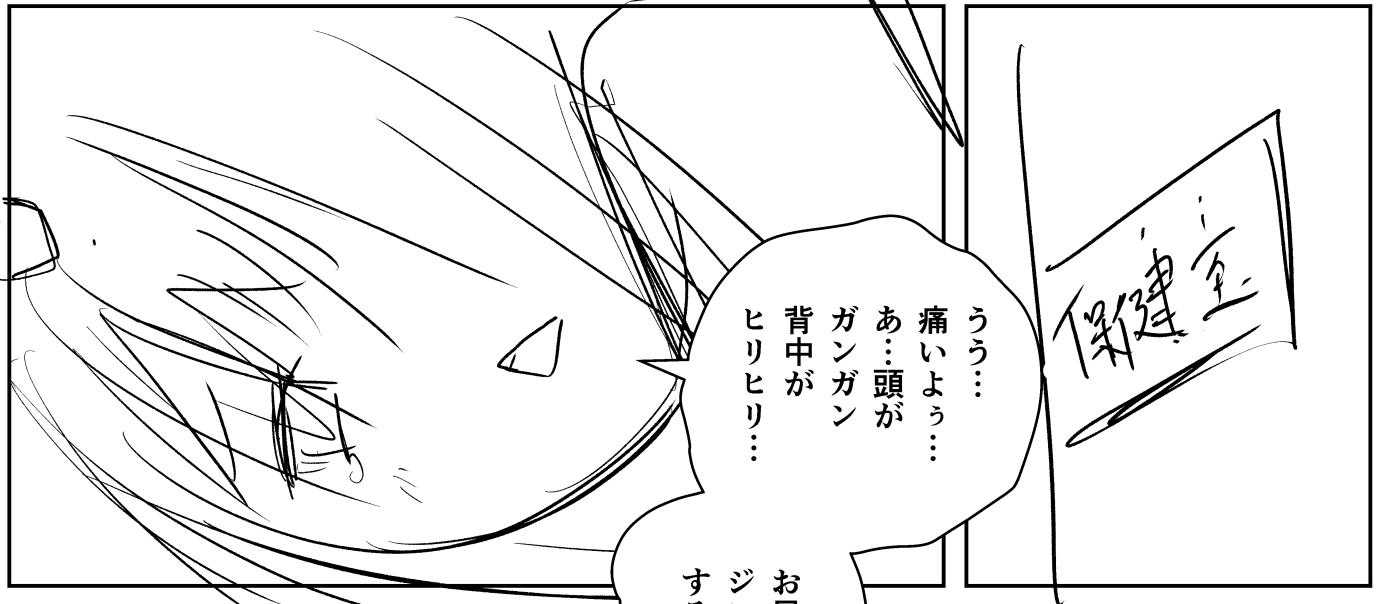


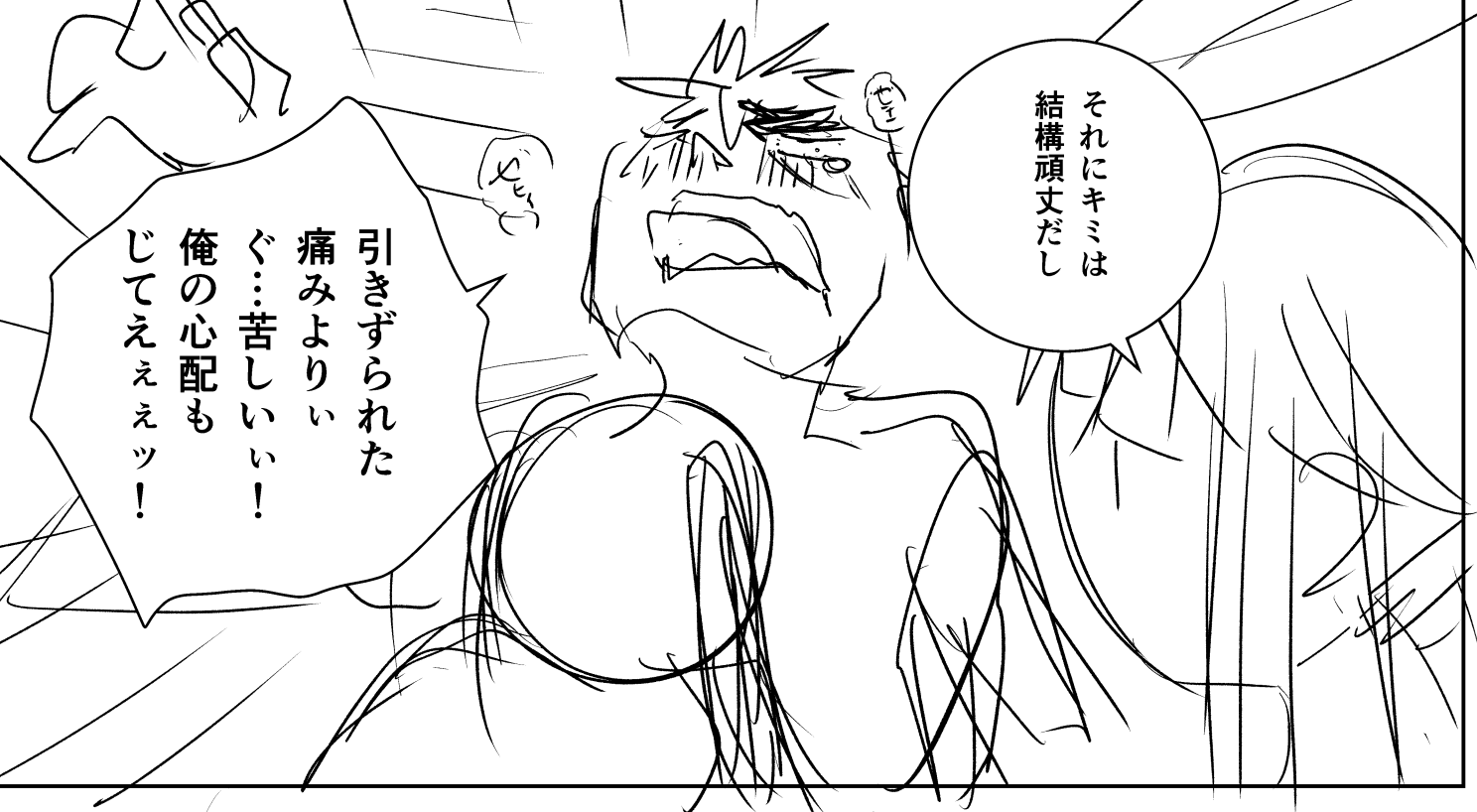
そして
この学園の
裏番長……
小鳥遊黒姫だ

狂犬
圧倒的一位で
ゴオオオル!



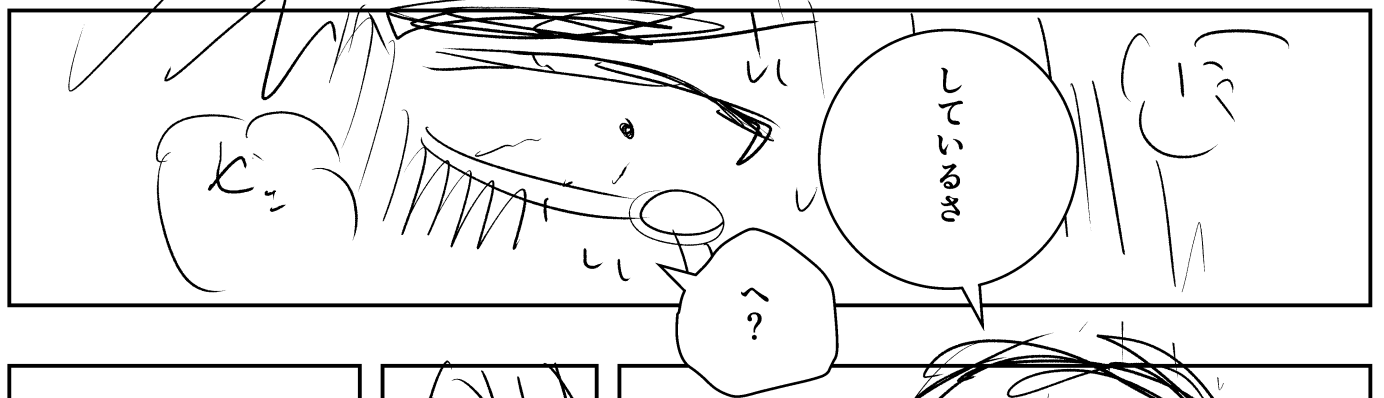
まさか……
彼女は――





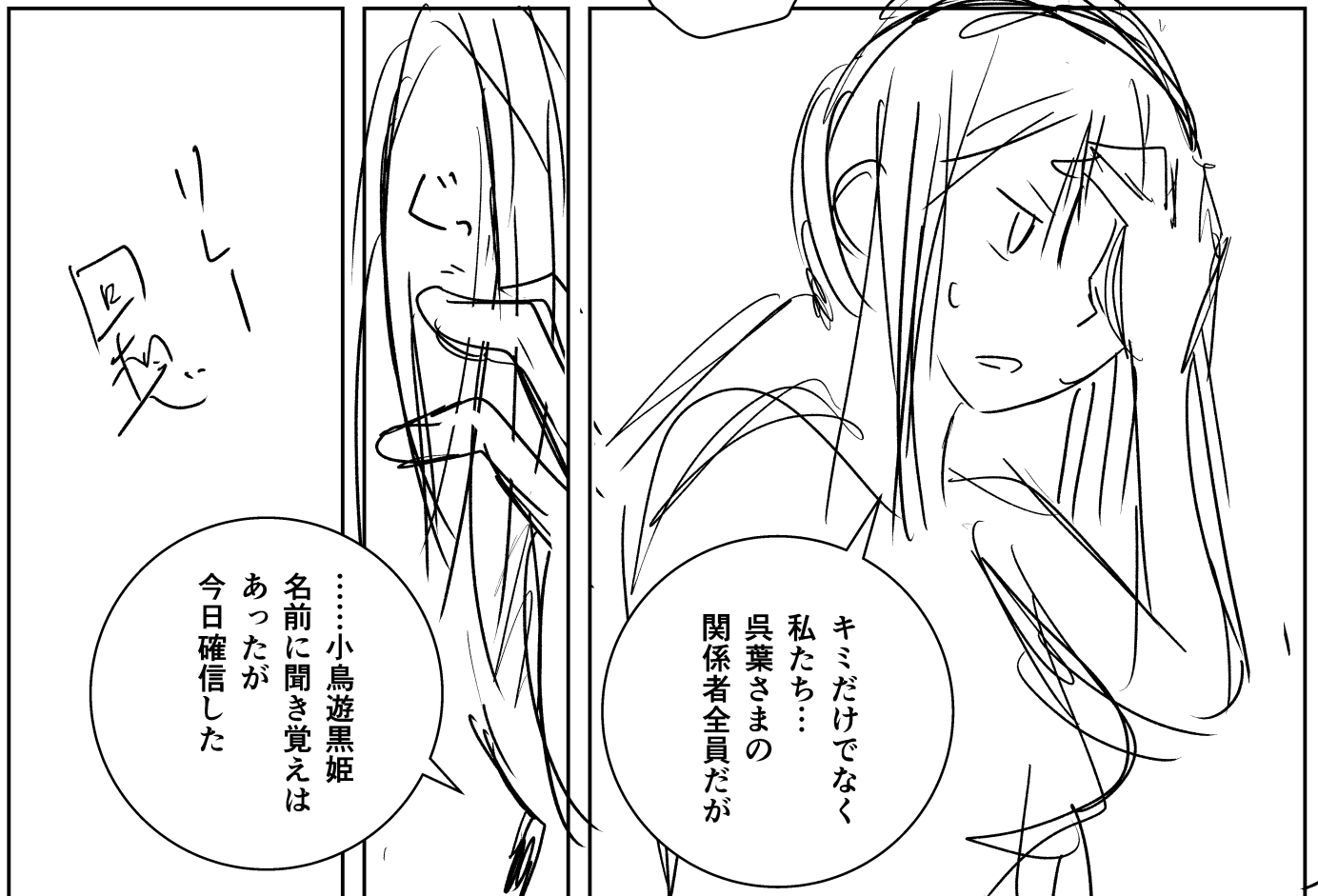
それにキミは
結構頑丈だし

引きずられた
痛みよりい
ぐ…苦しいい！
俺の心配も
じてえええッ！



してゐるの

へ？



キミだけでなく
私たち…
呉葉さまの
関係者全員だが

……小鳥遊黒姫
名前に聞き覚えは
あったが
今日確信した

(おに隠れて
宮殿にツノの痕
ありす)



かつて
呉葉様を
討ち取った
【降魔】の力

そして
現代において
その力を揮い
悪鬼を退ける
者たちがいる



おそらく彼女は
その一人であり
私たちは――

狙われて
いるかも
しれない